

【資料２－２】令和５年度 メディアに関する情報交換シートから

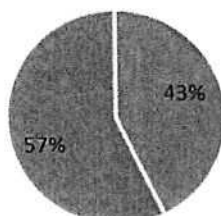
１．児童・生徒の状況（メディアの影響があると思われるもの）

登校しにくい児童生徒が増えて
いると感じている。

離席、暴れるなど落ち着かない児童
生徒が増えていると感じている。

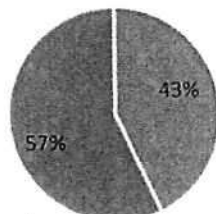
長時間の電子メディア接触をして
いる児童生徒が多いと感じている。

令和５年度



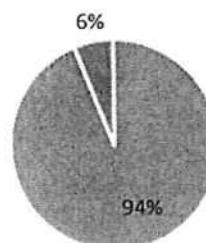
■ はい ■ いいえ

令和５年度



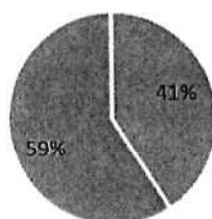
■ はい ■ いいえ

令和５年度



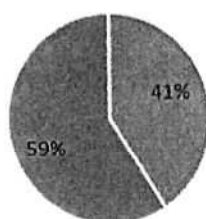
■ はい ■ いいえ

令和４年度



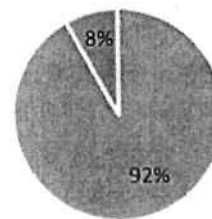
■ はい ■ いいえ

令和４年度



■ はい ■ いいえ

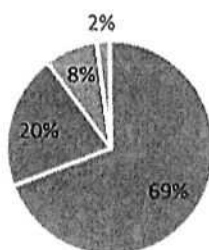
令和４年度



■ はい ■ いいえ

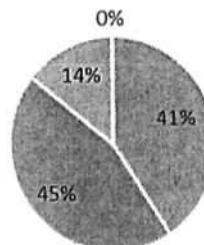
２．令和５年度の情報モラル教育について、児童生徒に指導を行ったかどうか、当てはまるものを選んでください。

令和５年度



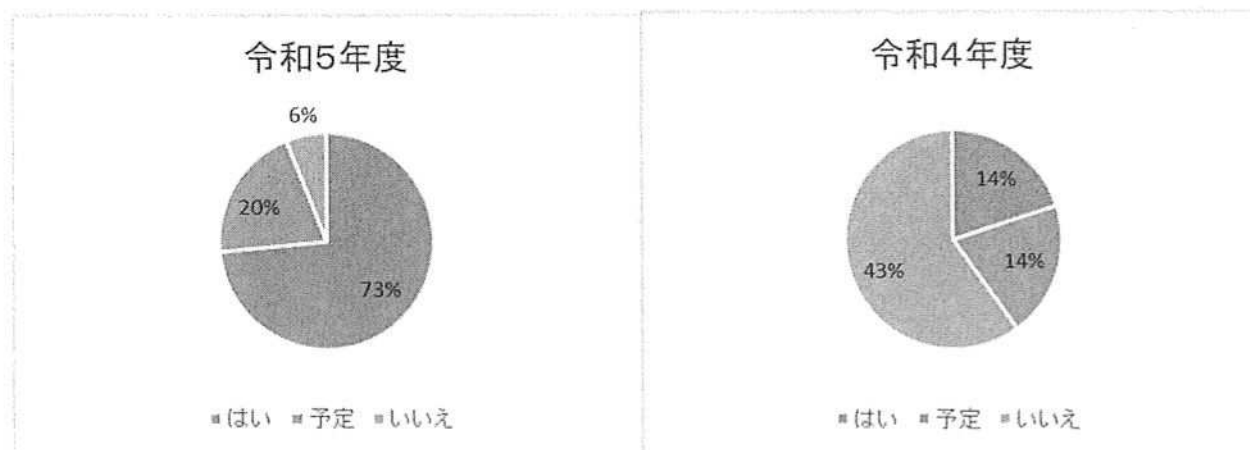
■ はい ■ 一部で ■ 予定 ■ いいえ

令和４年度



■ はい ■ 一部で ■ 予定 ■ いいえ

3. 令和5年度の情報モラル教育について教職員研修を行ったかどうか、あてはまるものを選んでください。



その他児童・生徒の様子で気になることがあればお書きください

電子メディアの長時間接触に関わる内容

- ・ 使用ルール、使用状況が家庭で決められていない家庭がほとんど。使用方法については学校だけではなく家庭で使用ルールを決めることが必要。
- ・ 深夜までゲームをしたり、YouTube を視聴している児童がいる。朝、起きにくかったり、学校で体調を崩して早退したりする児童が多い。(2)
- ・ 長時間の電子メディアの使用(2)
- ・ 電子メディアの時間や使い方を自分でコントロールできない様子が気になります。
- ・ 家庭でのメディア接触の時間が増え、学校にいる時間だけが、メディアから離れることになっている児童がいる。学校でのICTとのかかわり方が悩ましい。
- ・ 特性で普段から切り替えが難しい児童は、タブレットの使用時間も守ることが難しい。
- ・ 使い始めると、なかなか終われずメリハリがつかない児童がいる。ただ、大きな問題はない。
- ・ 電子メディアへの依存度は年々、高まっているように感じる。

体調不良

メディアへの依存度

児童・生徒の生活・健康に関すること

- ・ 睡眠時間、勉強時間の減少。
- ・ やるべきことを後回しにしてしまう習慣がある児童がいる。優先順位をつけられない児童がいる。
- ・ YouTube 視聴がやめられず、睡眠不足・無気力になる児童や、宿題等の家庭学習が出来ず学力不振に陥る児童が増えていると感じる。
- ・ 隙間の時間にタイピングを取り入れているが、すぐにやめられない時があり、切り替えのしにくさを感じている。
- ・ メディア接触時間が長くなることにより、就寝時間が遅い児童がいる。
- ・ ゲームや動画、SNS を下校後の家庭で過ごす時間に利用している。生徒たちの会話から、深夜に行っているケースも少なくない。そのため、遅刻してくる生徒、眠気がおさまらず早退する生徒が増えている。
- ・ 睡眠不の児童が多い。体力の低下。
- ・ ゲームばかりして休日を過ごすなどの体力低下の心配。
- ・ 睡眠時間が少なく、授業中に寝てしまう児童がいる。

学力不振

体力の低下

- ・ 自宅でのゲームやスマホの利用時間がかなり多く、家庭学習の定着ができない生徒が多い。
- ・ 睡眠時間が減っているまたは、遅くなっていること。
- ・ 宿題がおろそかになり、寝る時間が減ったりしているのが日常で、メディアコントロールウィークが相当辛そうである。
- ・ 朝から眠そうにしている、居眠りしてしまう児童もいる。
- ・ 視力が急激に落ち、慌ててルール作りをする保護者もいる。
- ・ 視力の低下が見られる。
- ・ ゲームや SNS の時間が多い生徒が不登校傾向になったり、体調不良になる例が複数あった。
- ・ タブレットの学習目的外使用 (YouTube 映像を視聴する、ゲームサイトにアクセスするなど) が散見される。授業中も教員の目の届かないところで、授業と関係のないサイトにアクセスするケースが見られる。
- ・ 友達同士での話題が、ゲームやインターネットに関することが多い。
- ・ 遅刻、昼夜逆転のゲーム依存、学校で授業中や保健室で寝る、不登校傾向の生徒。
- ・ 不登校や授業中の居眠り、無気力状態など
- ・ 睡眠不足による授業中の居眠り学力低下のグルーピング化 (SNS やオンラインゲームでメディア時間の横のつながりがあるため)
- ・ SNS や YouTube などの利用や視聴が増えていることで、トラブルが起きていることが気になっている。本来、小学生が使えないはずの tiktok などに関する問題も見られ、保護者の意識 (使わせている) の低さを感じている。また、ユーチューバーの動画を視聴することで、それを真似て、いじめにつながるような行動をする児童も見られたことから、電子メディアから少なからず影響を受けている児童は多いように感じている。
- ・ 対人コミュニケーション能力の変化。
- ・ SNS をよく利用していると思われる。
- ・ 遅くまでゲームなどを行なっているため、睡眠不足となり、登校後、体調を崩す児童が見受けられる。

視力の低下

無気力・不登校

ネットトラブルに関わる内容

- ・ ゲームのトラブルを現実の世界に持ち込んでいる。
- ・ オンラインゲームが浸透しており、学級内の人間関係に注視している。
- ・ メディア接触の多い児童とそうでない児童の二極化が進んでいると感じる。
- ・ メディア漬けでことばの使い方が荒くなる。ソーシャルゲームによるトラブルが多い。
- ・ 相手を傷つける発言を無意識にしてしまう。
- ・ 動画を視聴することで、それを真似て、いじめにつながるような行動をする児童も見られたことから、電子メディアから少なからず影響を受けている児童は多いように感じている。
- ・ オンラインゲームでのトラブルがあった。言葉遣いが気になる。
- ・ 家庭でフィルタリングなどの制限もなく、なんでも検索できる状況にあり、暴力的・性的な知識が得やすい環境にある児童がみられる。知識を持っていること自体が問題というより、保護者の無関心さからか、そういった知識を公共の場でひけらかしていることが気になる。
- ・ インターネットゲームなどにおいて課金をしている状況が見られる。
- ・ インターネットを通じて、直接知らない人とつながっていたり、動画などを公開したりしている状況が見られる。
- ・ 不適切な言葉の常用 (キチガイ、戦犯など)
- ・ SNS や YouTube などの利用や視聴が増えていることで、トラブルが起きていることが気になっている。本来、小学生が使えないはずの tiktok などに関する問題も見られ、保護者の意識 (使わせている) の低さを感じている。また、ユーチューバーの動画を視聴することで、それを真似て、いじめにつながるような行動をする児童も見られたことから、電子メディアから少なからず影響を受けている児童は多いように感じている。

言葉の乱れ 乱暴な言葉

友人関係の トラブル

課金

知らない人との つながり

2. メディアに関するルールやメディアコントロールについての取組

学園名	取組状況
千鳥の杜 学園	・ 警察と連携して講演会を実施。文科省が出している動画教材を使用して学級で指導を実施(一中) ・ 全校児童に配布している「タブレット使用の決まり」をもとに情報機器の正しい使い方について、各学級で継続的に指導を行なった。(内中原小) ・ 各学期に学園で時期をそろえて、メディアコントロールウィークを設け、メディアとの関わりについて考える活動を行っている。(法吉小) ・ 学校でメディア接触の目標時間を設定し、月に1度のメディアコントロールウィークに守れているかのチェックを行っている。(生馬小)
嵩の杜学園	・ 嵩の杜学園では、定期テスト期間に統一してメディアコントロールウィークを実施している。(二中) ・ メディアの使い方ルールを学校で決め、全校一致で取り組んでいる。(川津小) ・ メディアコントロールウィークは行っているが、マンネリ化している部分があるのが正直なところである。他の取組はまだ出来ていないのが現状。(母衣小) ・ メディアコントロールを学園内で合わせ実施している。全学年、メディア学習を行い、3年生以上は、メディア宣言を行った。(朝酌小) ・ メディアに関するルールを決め、メディアコントロールウィークを設定している。メディアについて上手に関わる方法について、保護者同士で話し合う場を設定した。(持田小)
まつえ 天神川学園	・ 天神学園として、メディアコントロールウィークというものを行っている。(三中) ・ 10月、12月、2月に学園でメディアコントロールウィークを行う。(雑賀小) ・ 年に3回。中学校区でメディアコントロールウィークで自分の目当てを設定し取り組んでいる。メディアコントロールウィークの結果をもとに必要な児童には指導をしている。(中央小)
津田古志原 夢きぼう学園	・ 期末試験前のメディアコントロールや、長期休業中の計画表等に啓発(四中) ・ 各学年ともメディアについての授業を行い、メディアとの正しい付き合い方、ルール等について学んでいる。しかし、家庭の協力無しでは効果が薄いと感じている。(津田小) ・ 各学年ごとに市のメディア推進委員会の方にきていただき、メディア学習を行った。(古志原小)
まつえ 湖南学園	・ 生徒から募集した言葉をまとめて「メディア宣言」を作成した。メディアコントロールウィークを期末テストに合わせて学園の小中学校で行っている。(湖南中) ・ 委員会でメディアコントロールウィークに合わせて宣伝活動を行い、児童のアイデアで目標達成者には景品をプレゼントするようにした。(乃木小) ・ メディアコントロールウィークを各学期ごとに行い、保護者とともに子どもたちの様子を確認している。また、その結果を受け、子どもたちに指導を行なっている。(忌部小)
湖東 かなび学園	・ 集会等でメディアとの関わり方について考える機会を設ける。(湖東中) ・ 外部講師を招いたメディア学習(大庭小) ・ 今年度のはじめに、児童会(6年生)から、メディアに関する学校全体の合言葉を提案し、児童総会で発表して、全校で取り組むことにしました。授業公開日に合わせ研修会を開き、講師(長谷川陽子さん)を招いて、上学年の児童と保護者向けにお話をいただいた。6年生は、メディア学習を行い、市教委から講師を招いて学習をした。メディア宣言やルール作りなどを行った。(竹矢小)
本庄 水辺の学園	・ メディアに関する講演会を開き、メディアに対しての教養を身につけてもらうようにした。(本庄中) ・ すこやか委員会の取組として、「にこチャレ週間」を実施し、メディアの使用時間に気を付けている。(本庄小)

湖北 白鳥学園	・ テスト前の部活動休止期間と合わせて保健委員会主催のメディアコントロールシートを活用した取組。(湖北中) ・ タブレット端末使用開始時に使用のルールとともに、体に与える影響について話をした。学年でルールを決めた。授業公開で外部講師によるメディア学習を行いメディア宣言をした。(古江小) ・ メディア学習を実施(予定)、チャレンジウィークでメディアの時間をチェックした。(大野小) ・ 学期に1度実施している健康チャレンジで、メディアに関する項目を設けることで、子ども自身、家庭でメディアと接する時間について、考えられるようにしている。健康週間チャレンジの結果を保健だよりでお知らせしている。(秋鹿小)
鹿島 ふれあい学園	・ 生徒への研修を実施 警察による非行防止教室を実施(鹿島中) ・ 市のメディア教育推進員の方に来ていただき、メディア宣言を自分で実践して生活を改善する取り組みを行った。(恵曇小) ・ 学園内で健康チャレンジ週間を学期に1回取り組み、その中に「メディアは2時間以内」という項目を設定し、どの程度達成したか学園内で比較できるようにグラフ化している。他にも、質の良い睡眠にするために、「寝る1時間前にはメディア接触を避ける」という項目も設け実施している。(佐太小) ・ メディア教育を各学年で実施し、実態に応じたメディアとのかかわり方の学習をしている。学園で健康チャレンジ週間に取り組み、めあてをたててメディアコントロールに取り組んでいる。(鹿島東小)
しまね 潮風学園	・ 学園全体でのメディアコントロールウィークの実施。メディア講演会の実施。(島根中) ・ 毎年各学年でメディア学習を実施。(島根小)
海と朝日の 美保関学園	・ メディア講演会の実施。メディアアンケートの実施。メディアウィークの実施。(美保関中) ・ 全校朝礼で校長から全校児童に話をし、その後各担任から指導をした。メディア学習を行なった。(美保関小)
やくも 意宇学園	・ メディアウィークとして、1日のメディア利用時間やルールを決めて、保護者とともに取り組んだ。(八雲中) ・ 夏休みに生活リズムカードを記入して家族でメディア時間を振り返った。学期に1回すこやかチャレンジカードを記入して、メディアコントロールをめあてにしている。1～6の全学年でメディア学習を講師を招いて行い、児童はメディア宣言をしている。(八雲小)
玉湯 まがたま学園	・ 前期課程では、定期的に生活習慣チャレンジ週間に取り組み、生活習慣やメディアとの付き合い方について、親子でより良い習慣を身につける取り組みを行なっている。 ・ 各学年で、電子メディアとの付き合い方について授業を行っている。
宍道 みずうみ学園	・ タブレットの学習目的外使用について、校内で事例検討会を開催し、問題意識や取組の方向性の共有を図った。今後は生徒がタブレット利用の責任を「自分ごと」としてとらえ、生徒自身がルールやマナーについて考える授業の実施について検討していきたい。(宍道中) ・ 家庭に任せている状況で学校としての取り組みは各担任が学級でメディアについて話をしている程度。(宍道小) ・ 各学年の実態に応じて、学級活動やチャレンジ週間の取組の際にメディアとの接し方や時間について指導を行っている。全学年においてメディア学習推進員との学習やメディア宣言などの取組を予定している。(2～5年は1学期に実施済み) (来待小) ・ 学園のルールで、スマホやタブレットなどの電子機器には分校生活以外で触れられないことになっています。そのおかげもあるかもしれませんが、過度なメディアの使用はなく、生活リズムも乱れることなく安定した生活につながっていると思います。(大野原分校)

八束学園	・ タブレット端末持ち帰りにあたって「タブレット端末持ち帰りの約束」を作成し、全学園生に配付、指導した。
ほっとハート 東出雲学園	・ 1 学期と 2 学期に健康生活チェックを生徒会と養護教諭で行い、メディアとの関わり方などについて考えさせる取り組みを行っている。(東出雲中) ・ メディア学習を行っていただき、個人情報の取り扱いやメディアとの関わり方についての理解を深めた。(意東小) ・ タブレットの約束(通年・夏休み用)を作成し、指導にあたった。学級掲示用のメディアのルールを作成した。(揖屋小) ・ メディアコントロールウィークの設定をしている。学年に応じて、メディア教育を実施している。保健だより等で、メディアについての啓発をしている。(出雲郷小)
皆美ヶ丘女子	・ メディア講演会を実施し、メディアの利便性と危うさを示し、メディアの利用について考え、利用の仕方を考えさせた。

3. 保護者の意識向上連携について

講演会・研修会

- ・ PTA 研修のテーマにメディアを取り上げ、外部講師による研修を受けた。(生馬小)
- ・ メディア講演会に講師を招いて、保護者・生徒の啓発活動を行った。(島根中)
- ・ e-net キャラバンの渡部先生を講師に招いて保護者・児童・教職員一緒に研修を行った。(秋鹿小)
- ・ 生徒の研修を保護者にも公開 7 名参加 (鹿島中)
- ・ PTA 研修会等の機会、保護者からも研修に参加していただき、見識を深めた。(恵曇小)
- ・ P T A の研修として 1 1 月に講師を招き、タイトルを「インターネット利用による犯罪に巻き込まれないために」として、メディアに関する研修会を行う。(佐太小)
- ・ 昨年度、講師を招いてメディアと健康についての講習会を行い、保護者に情報提供した。(二中)
- ・ PTA 活動の中で、研修に参加してもらった。(本庄中)
- ・ e ネットキャラバンの先生を講師に招いて保護者・生徒一緒に研修を行い、家庭で困っていることなどのアンケートを提出してもらった。(美保関中)
- ・ PTA 研修会の際、島根の子どもとメディア研究会会長の伊藤紀子先生をお招きし、研修会を行なった。(忌部小)
- ・ PTA 活動でメディアに関する研修会を行う予定。(玉湯学園)
- ・ メディアコントロールのための講師を招聘しての講演会 (四中)
- ・ 今後、PTA をまきこんで、研修を進めていく予定である。(津田小)
- ・ 松江市警察署より講師を招いて、全校生徒にメディア教育講演会を行った際に、希望する保護者にも参加してもらった。(八雲中)
- ・ 研修を粘り強く行っていく必要があると感じる。(湖東中)
- ・ メディアに関する研修会の啓発・メディア学習後の振り返り活動 (大庭小)
- ・ 授業公開日に合わせて、PTA の研修会を開き、講師に長谷川陽子先生を招いてお話をいただいた。前半は児童も一緒にお話を聞いたが、後半は保護者向けのお話もいただいた。(竹矢小)
- ・ メディア学習を授業公開日に合わせて実施してした (2～5 年)。(揖屋小)

メディアコントロールウィーク・チャレンジ週間

- ・ 上記メディアコントロールシートの保護者確認欄及び、コメント。(湖北中)
- ・ チャレンジウィークを家庭で取り組むことで、保護者にも意識をしてもらった。(大野小)
- ・ 学園での健康チャレンジ週間に取り組み、保護者の方からもコメントをもらっている。(鹿島東小)
- ・ 健康チャレンジ週間の結果を保護者に伝え、メディア接触に対して考えてもらう機会としている。(佐太小)
- ・ メディアコントロールウィークの取組や、各学年で行うメディア学習に対して、感想や意見をもらった。(母衣小)
- ・ 親子で「にこチャレ週間」に取り組んでもらい、家庭として意識してもらっている。(本庄小)
- ・ 学期に1回、1週間のメディアコントロール週間を実施している。(八束学園)
- ・ メディアコントロールウィークの回数を増やしてほしいという保護者もあり、保護者の方も「言っても聞かない」など困っておられる。(中央小)
- ・ メディアコントロールウィークの最終日に、家庭での1週間の取り組みを振り返って感想を書いて提出してもらっている。(湖南中)
- ・ メディアコントロールウィーク後、子どもたちの振り返りに対するコメントを記入してもらっている。
- ・ メディアコントロールウィークで、保護者の方にも協力をしてもらっている。(出雲郷小)
- ・ メディアコントロール週間(城北小)
- ・ 上記の健康生活チェックを生徒は持ち帰り、保護者のコメント欄をもうけて家庭でもメディアとのかかわり方をに関心を持ってもらう取り組みを行った。(東出雲中)
- ・ 年に2回メディアコントロール週間の取り組みを行っている。(城北小)

おたより・HP等による啓発

- ・ ホームページや配布物で指導内容について知ってもらえるようにする(一中)
- ・ 生徒指導だよりや学年だより等でメディアとの関わり方について啓発を行っている。(法吉小)
- ・ メディア教育の様子を学年通信などで発信している。(鹿島東小)
- ・ 保健便り、学級便り等でメディアに関する情報提供や呼びかけを行う。メディア学習推進員とのメディア学習の様子を学級便りに載せている。(来待小)
- ・ 夏季休業プリント等で小中共通指導テーマの啓発 【夜9時30分までに、通信できるメディアは、親が預かる】(四中)

授業公開・学級懇談会

- ・ 学級通信や懇談会で話題にし、話し合ってもらった。(大野小)
- ・ 授業公開後の学級懇談会において、メディアコントロール等について話題にする。(来待小)
- ・ 学校でメディア学習推進員によるメディア学習を授業公開日に設定し、保護者にも一緒にお話を聞いてもらった。(古江小)(恵曇小)(川津小)(乃木小)
- ・ 学級懇談会の際に、メディアに関する話を全学年実施し、家での子どもの様子や、悩み、学びなどを記入し、提出してもらった。(朝酌小)
- ・ 松江市教育委員会、ICT 推進係の方を講師に招いて、保護者同士でメディアについてどう関わるについて、話し合う場を設定した。(持田小)
- ・ 1 学期の参観授業でメディアに関する授業を行なっている。(三中)
- ・ 授業公開日に合わせて情報モラルやメディアのかかわり方に関する授業を行う。(雑賀小)
- ・ 学級懇談で話題にした。(中央小)
- ・ 公開授業でメディア学習の授業を行い、メディア利用のメリットとリスクについて、保護者にも考えてもらう機会を作った。(宍道中)
- ・ 授業公開日に合わせて、メディア学習を行った。(古志原小)
- ・ 4 年生が授業公開日にメディア学習を計画している。(八雲小)
- ・ 授業公開でメディア学習を行い、家庭で話し合うよう促した。(意東小)

アンケートの実施等

- ・ PTA 保体部でメディアアンケートを実施し、啓発活動を行った。(島根小)
- ・ PTA 文化研修部が保護者へのメディア接触アンケートを実施したりして、保護者が主体的に取り組んだ。(佐太小)
- ・ メディアについてのアンケートを保護者に実施。(美保関小)

その他

- ・ 「タブレット使用の決まり」をもとに、タブレットの使い方や連続使用時間、持ち帰りについての約束を保護者に周知した。(内中原小)
- ・ 学校保健委員会の課題をメディア接触・睡眠として取り組んだ(佐太小)
- ・ メディア学習で決めた宣言を持ち帰り、家庭でも一緒に取り組んでいただくように連絡した。(中央小)
- ・ 夏休み終了までの1週間生活リズムチェックをお願いしているが、その程度。(宍道小)
- ・ 帰省などの家庭実習の際、スマホなどの利用については使用時間等を寮の担当職員と保護者とできちんと約束しています。親子ともにそのルールをしっかり守らないといけないことになっています。(大野原分校)
- ・ 今年度は保護者向けの研修を行っていないが、学校評価アンケートを利用し、生徒の状況を把握したい。(皆美が丘女子)

4. その他の取組

- ・ 各学年、メディア教材を利用して、情報モラル教育についての指導を行っている。(法吉小)
- ・ 小中連携のアンケート実施(鹿島中)
- ・ 養護教諭が6年目研修のテーマとしてメディアを取り上げ、実態調査やメディア学習を行い、実践をすすめている。(恵曇小)
- ・ ICTの技能及び、モラル教育について各学年で、取り組む目標を系統的に設定し取り組んでいる。(川津小)
- ・ 定期的に生徒と保護者で話し合い回答する、メディアについてのアンケートを実施している。(美保関中)
- ・ 学園生のタブレット利活用を前提とした指導を行い、「情報モラル教育」から「デジタル・シティズンシップ教育」へと意識改革を図る。(八束学園)
- ・ SNSへの不適切な映像投稿や、SNSでの誹謗中傷等を題材とした情報モラル授業を行った。(宍道中)
- ・ メディア接触時間を減らした時間の活用に、「ファミリー読書」「きつずチャレンジ」「運動カレンダー」の実践協力をお願いした。(長期休業中) (来待小)
- ・ 市教委による危険ワード検索による個別指導(四中)
- ・ 学校保健委員会などの取り組みとして、チャレンジデーを設定し、メディアに関するめあても決めて、家族と一緒に取り組んでいる。(竹矢小)
- ・ PTA生活保健部の取組で「ノーメディア週間」を実施した。(揖屋小)
- ・ タブレットの使い方については、基本的に教員の指示に必ず従う、学習に関係ないことには使わないなどの約束をしています。しかし、モラルに委ねる部分も大きいのでしっかり考えて主体的に使うようにという指導をしています。(大野原分校)
- ・ 保護者への文書の送付(皆美が丘女子高)
- ・ 外部講師を招き、各学年メディア学習を実施した。(忌部小)